

公益社団法人日本マスターズ陸上競技連合
2023 年度事業計画

公益社団法人日本マスターズ陸上競技連合では、陸上競技を通じて生涯スポーツの普及振興に寄与することを目的とし、各事業に取り組むものとする。

2020 年度から続く新型コロナウイルスの影響により、2022 年度も全日本マスターズをはじめ幾つもの競技会が中止せざるを得ないことになってしまった。

2023 年度においても、依然新型コロナウイルスは完全終息には至らず、対象者に高齢者を含むマスターズ競技会の開催には、まずは安全であることが第一となる。

諸々の課題を抱えたままの 2023 年度となるが、協力し、工夫を重ね、難局を乗り越えたい。

また、新型コロナウイルス流行の収束後には、全てが過去と全く同じということではない。

この機を逆にチャンスにとらえ、過去を脱却し、新たなマスターズ陸上として歩むための準備期間としたい。

2023 年度の主な事業は以下の通り

(1) 全国競技会の開催

- ① 全日本マスターズ陸上競技選手権 (10 月 7 日-9 日 山口市)
- ② 全日本マスターズ混成競技選手権 (未定)
- ③ 全日本マスターズ混成投てき五種競技選手権 (未定)
- ④ 全日本マスターズ競歩選手権 (10 月 1 日 岩手・北上市)

(2) 国際競技会への参加

- ① アジアマスターズ陸上競技選手権への派遣
(11 月 8 日～12 日 フィリピン・クラークシティ)
- ② ワールドマスターズゲームス関西(2027 年 5 月)への参画

(3) 年間記録集の発行

(4) 社会貢献事業

- ① 陸上競技の普及啓発講習会および講演会の開催

2023 年度専門委員会事業計画

【総務委員会】

総務委員長 岡田 節男

1. 総務委員会の開催
 - ①表彰関係について
 - ②諸規程・規則の見直しについて
 - ③会員登録申請について
2. 諸規定の制定、廃止
内閣府の指摘を踏まえ、定款・会員規程・役員を選出規程・加盟団体規程・社員総会運営規定・理事会運営細則・その他の見直し
3. 表彰対象者の人選（表彰委員会の開催）
 - ①各種表彰
 - ②スポーツグランプリ推薦者の選定
 - ③秩父宮章推薦者の選定
4. 連合三役と地域（ブロック）連盟役員との意見交換会の開催
連合と地域役員のコミュニケーションを深めるため開催する。
2023 年度東海ブロック
5. 会議議事録の作成の正確性と迅速化

【財務委員会】

財務委員長 今井 守雄

全日本マスターズの会計処理手順の構築

【競技運営委員会】

競技運営委員長 伊藤 誠一

日本陸連競技規則等の修正を参考に、マスターズの競技規則・競技運営細則などの確認をしていきます。

新記録公認申請方法の確認および競技規則の充実を最重点におき、競技運営方法・記録処理などの指導にあたりたいと考えております。

1. 競技規則の見直し検討
2. 競技運営方法の充実
3. 記録申請の正確さと充実

さらに、競技運営委員会の組織についても検討していきます。

【普及広報委員会】

普及広報委員長 藤林 真美

連合ホームページの有効活用による会員増加

<新規会員獲得> マスターズ陸上の認知度向上

<会員向け> 都道府県連盟の競技会・練習会情報・トレーニング・食事方法
の紹介など

【国際科学委員会】

国際科学委員長 坂本 修一

WMA・AMA 組織との連携・選手権大会への役員・チームリーダー派遣

アジアマスターズ選手権 11月8日～12日 フィリピン・クラークシティ